

コード	304011401
記入日	H24.6.8

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	村中 佳夫

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	出生祝金支給事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040114	事務事業名称	出生祝金支給事業費	細目コード	254
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	新上五島町出生祝金支給条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 6ヶ月以上居住し、新生児を産出した母		(対象指標1) 対象者 118人				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
*****		*****		*****	*****	*****
		支給者数		118人	100%	支給者数- 申請者数
		① (達成率分析)		対象者全員に支給した。		
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
		*****		*****	*****	*****
		支給対象者数		118人	108%	支給対象者数- 前年度対象者数
		① (達成率分析)		支給対象者が9名増加している。		
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 人	911	911	793	118	118					
	②										
成果指標	① 人	911	911	793	118	118					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	63,450	63,450	55,200	8,250	8,250					
直接事業費 A	千円	58,550	58,550	51,000	7,550	7,550					
人件費 B	千円	4,900	4,900	4,200	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.7	0.7	0.6	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	63,450	63,450	55,200	8,250	8,250					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	ある ● ない	理由	児童数の直接の増加につながっていないため、他の施策と整理統合する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	いる ● いない	理由	出生数の減少を止めるためには弱い、育児の負担軽減にはなっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	ある ● ない	理由	支給額を増額しても出生数の増加にはつながらない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	いる ● いない	理由	直接の出生数の増加につながっていない。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理由	支給額を減少させると効果はさらに下がる。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	出生祝金では、直接的な児童数の増加につながらないため、医療費の無料化や幼稚園等の無料化など各種施策との整理統合を検討する必要がある。

2 次 評 価	本町の次代を担う子どもたちの出産を祝い、健全育成を図るため今後も支援を行っていくものとするが、1次評価の課題については、出生数の増加に繋がる新たな施策について、住民のニーズや社会情勢の変化等を考慮し、関係各課と連携・協議し検討すること。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
				このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
	●			類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。